



# わかくさ



吉田小HP  
ぜひご覧ください

大和町立吉田小学校

第 7 号

令和7年9月27日

今月のいじめ認知件数は0です  
いじめに関する情報は学校まで

## 「じっくり聴く・思いを伝える」 ～児童会総会・縦割り班でのp4c～

先日、今年度の児童会総会がありました。議題は「名前の呼び方について」、提案理由は「呼び捨てをされていていやがっている人を見たことがあるので、全校で話し合った方がよいと思ったから。」というものでした。事前に議題について各学年でも話し合いを行い、当日、出された意見をまとめたものを持ち寄りました。運営委員の進行で総会が始まり、議題や提案理由、各学年の意見を確認した後、縦割り班ごとにp4cによる話し合いを行いました。

p4cは「philosophy for children」の略称で、「子どもの哲学対話」と訳される教育実践です。サークルになり、コミュニティ・ボールという毛糸で作ったボールを使用し対話を進めます。p4cには以下の4つのルールがあります。

- ・ コミュニティ・ボールを持っている人だけが話せる
- ・ まだ話していない人にボールを回す
- ・ 話せない時はパスができる
- ・ 相手を傷つけるようなことは言わない



本校では「話をじっくり聴く」「自分の考えを相手に伝える」ことを大切にするとともに、「否定せずに話を聞いてくれる」「自分の思っていることを話していいんだ」と思える「安心・安全な居場所づくり」を目指し、昨年度よりp4cを取り入れています。今年度は道徳や学活などを中心に、各学年でp4cを行ってきました。

児童会総会で、また、今年度、縦割り班でのp4cは初の試みです。6年生のリーダーが進行役となり、一人一人が自分の思いを話しました。同じ班の友達の話に耳を傾け、自分と違う考えにも、うなずきながら話を聴く様子が見られました。1年生も、初めてとは思えないほど、しっかりと自分の考えを発表し、とても感心しました。



話し合いでは、「呼び捨てにされるのは嫌だから、さん・くん・ちゃんを付けて呼んでほしい。」「呼び捨てでもいいか聞いて、許可をもらおうとよいのでは。」「同級生や上の学年の人ならいい。」「同じ学年でも呼び捨てされるのは嫌だ。」など、様々な意見が出されました。



今回、出された意見を一つにまとめることは、あえてしませんでした。子どもたちは、この総会を通して、いろいろな考えがあること、相手がどう思うかを大切にしていくことについて、改めて考えを深めることができたようです。

名前は、その人にしかない、たった一つの大切なもの。もちろん、その人自身もたった一人のかけがえのない人…。これからも一人一人を大切にしながら、みんなが安心して過ごせる吉田小でいたいと思います。

校長 生出 真理

